



野外で活動する際は ダニにご用心!

令和6年4月24日
富山県感染症情報センター
(富山県衛生研究所内)
(0766-56-5431 直通)

感染症発生動向速報

(令和6年第16週分・4月15日～4月21日)

《インフォメーション》

●ダニが媒介する感染症

ダニは春から秋にかけて活動が活発になります。この時期、農作業やレジャー等の野外活動を行うことが多くなるため、ダニに咬まれる危険性が高まります。ダニが病原体を保有している場合、感染症を発症することがあります(右表参照)。

国内で発生する可能性があるダニが媒介する感染症には、ツツガムシ病、日本紅斑熱、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ライム病などがあります。これらのダニ媒介性感染症では、死に至ることもあります。もしダニに咬まれた後、右表のような症状が出た場合は、速やかに医療機関を受診し、ダニに咬まれたことを告げましょう。

日本紅斑熱、SFTSの患者は西日本を中心に発生していますが、近年では患者発生の地域が東日本へ広がっており、患者報告数も年々増加し、昨年は過去最多となっています。**県内では、2022年11月にSFTSの患者が、さらに2023年5月に日本紅斑熱の患者が初めて確認**されています。ライム病は2000年代に県内で2例が報告されています。

(ライム病について：<https://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/lyme/index.html>)

ダニは県内に広く分布していると考えられます。**野外で活動する際は、ダニに咬まれないための対策が必要です。**以下のことに注意しましょう。

- ① 草むらなどに入るときには、肌が露出しないように、長袖、長ズボン、手袋、長靴等を着用しましょう。
- ② 服の上や肌の露出部分に、虫よけ剤のスプレー等を使用しましょう。
- ③ 地面や草むらに直に寝転んだり、腰を下ろしたり、服を置いたりするのはやめましょう。
- ④ 野外で活動した後は、すぐに入浴し、体や頭をよく洗い、新しい服に着替えましょう。
- ⑤ ダニに咬まれても痛みや痒みを感じないので、入浴の際に咬まれていないかを確認しましょう。
- ⑥ 吸着しているダニを無理に引き抜こうとすると、ダニの一部が皮膚内に残ってしまうことがあるので、医療機関で取ってもらいましょう。

《全数報告の感染症》

二類感染症 結核 2件 (①20歳代、女性 ②70歳代、女性)
五類感染症 侵襲性インフルエンザ菌感染症 1件 (80歳代、女性)
梅毒 1件 (第10週診断分：60歳代、男性、無症候)

《定点報告の感染症》

今週の県内上位6疾患		定点あたりの数	
順位	疾病名	今週 (増減)	先週
1位	感染性胃腸炎	11.46 (↑)	10.36
2位	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	5.04 (↑)	4.86
3位	COVID-19	3.85 (↓)	3.96
4位	インフルエンザ	2.93 (↓)	4.24
5位	咽頭結膜熱	2.18 (↓)	2.25
6位	R S ウイルス感染症	1.50 (↑)	0.86

富山県感染症情報センターURL：<https://www.pref.toyama.jp/1279/kansen/>

※第9週分以降、URLが変わりました



国内で発生する主なダニ媒介性感染症

疾患名	病原体	潜伏期間	症状及び所見	治療法
ツツガムシ病	ツツガムシ病 リケッチア	5～14日	発熱・発疹・ ダニの刺し口	抗菌薬 投与*
日本紅斑熱	日本紅斑熱 リケッチア	2～8日	発熱・発疹・ ダニの刺し口	抗菌薬 投与*
SFTS	SFTS ウイルス	6～14日	発熱・消化器症状 血小板減少 白血球減少	対症療法
ライム病	ライム病 ボレリア	3～32日	発熱・遊走性紅斑 神経症状・関節炎	抗菌薬 投与*

※テトラサイクリン系が有効

○感染症発生動向調査報告状況（令和6年第16週 令和6年4月15日～令和6年4月21日）

分類	疾患	今週報告分（第16週）						累積報告数（令和6年第1週（1月1日）～）							
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計		
全数把握	二類感染症	結核	1		1			2	6	2	10	2	18	38	
		（再掲）結核：無症状病原体保有者を除く	1					1	3	2	3	1	10	19	
	三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症								1			2	3	
	四類感染症	E型肝炎											1	1	
		レジオネラ症								1	5	1	8	15	
	五類感染症	アメーバ赤痢											1	1	
		カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症									2		2	4	
		急性脳炎									1		1	2	
		劇症型溶血性レンサ球菌感染症							1		2	1	4	8	
		後天性免疫不全症候群（HIV感染症を含む）										1	2	3	
侵襲性インフルエンザ菌感染症						1	1			1	1	2	4		
侵襲性髄膜炎菌感染症												1	1		
侵襲性肺炎球菌感染症								1		1		4	6		
水痘（入院例）										1			1		
梅毒										2	2	1	5		
播種性クリプトコックス症											1	1			
定点把握（上段：報告数、下段：定点医療機関当たりの報告数）	インフルエンザ／COVID-19定点（46定点）	インフルエンザ	8		32	60	35	135	1,058	1,025	3,979	1,526	5,037	12,625	
		COVID-19	31	9	46	52	39	177	977	636	1,959	1,027	1,797	6,396	
	小児科定点（28定点）	RSウイルス感染症		10	11		21	42	10	20	17	9	68	124	
		咽頭結膜熱	2	6	37	2	14	61	52	113	465	24	478	1,132	
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	7	80	11	35	141	103	119	1,644	196	727	2,789	
		感染性胃腸炎	31	28	58	50	154	321	399	441	925	531	1,906	4,202	
		水痘		1	2		3	6	1	5	34	8	29	77	
		手足口病		0.33	0.25		0.33	0.21	6	1	21		12	40	
		伝染性紅斑			1			1			3	1		4	
		突発性発しん		1	3	1	3	8	3	8	35	12	24	82	
		ヘルパンギーナ	1					1	39			1	1	41	
		流行性耳下腺炎	0.25					0.04			2	2	1	5	
		眼科定点（7定点）	急性出血性結膜炎										1		1
			流行性角結膜炎	1		2		3	6	8	1	10	3	9	31
	基幹定点（5定点）	無菌性髄膜炎										3		3	
	入院サーベイランス（5定点）	インフルエンザによる入院患者（※1）				1		1	20	10	30	46	68	174	
		COVID-19による入院患者	4	3	2	4	5	18	70	89	58	92	245	554	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

※1 インフルエンザによる入院患者累計報告数は、令和5年第36週（9月4日）～の集計です。

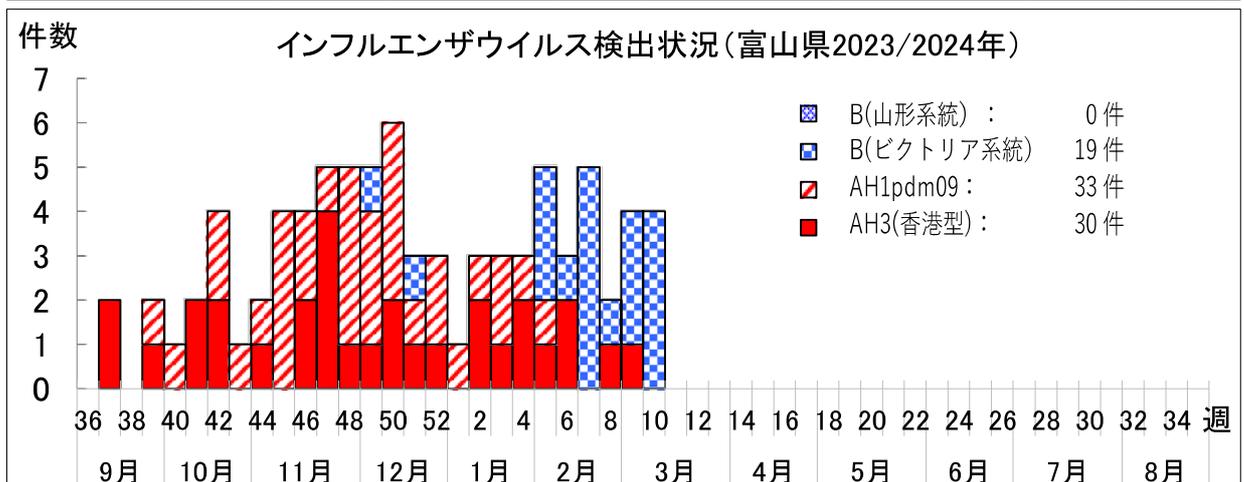
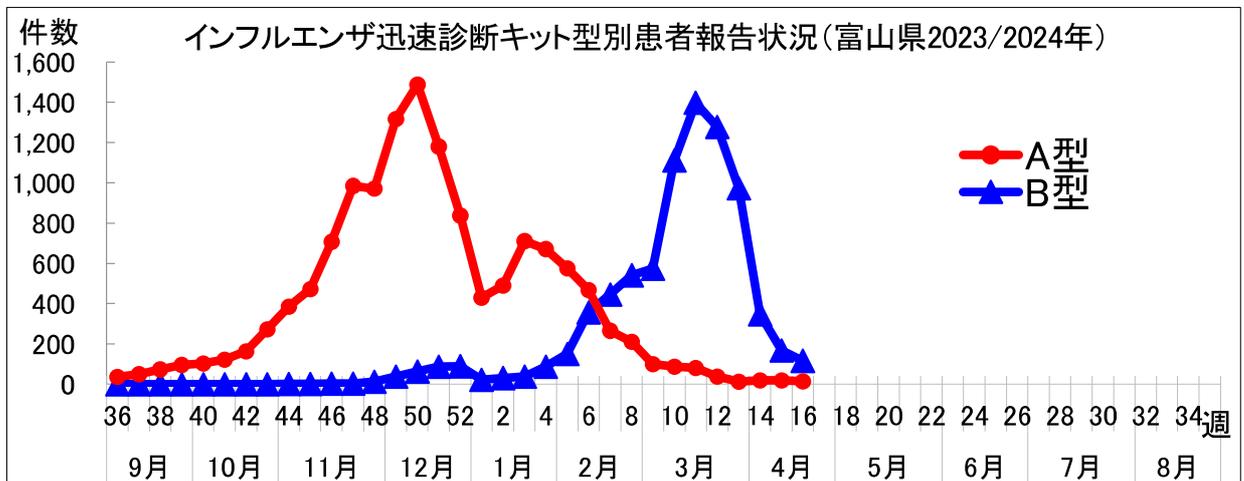
インフルエンザ定点における患者診断状況

このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。
 現在、下の表によると、B型が85.9%となっています。

第16週(4/15~4/21)：富山県 2.93人/定点 (単位:件)

厚生センター・保健所名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 ^{※2}	合計
		A型	B型		
新川	5 / 6	0	8	0	8
中部	5 / 5	0	0	0	0
高岡	10 / 13	3	28	1	32
砺波	7 / 7	2	55	3	60
富山市	11 / 15	8	25	2	35
富山県	38 / 46 ^{※1}	13	116	6	135
富山県累計(2023年36週~)		13,446	7,937	1,351	22,734

※1 46の定点医療機関のうち、インフルエンザと診断した医療機関が38か所あったことを示します。
 ※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



インフルエンザ情報



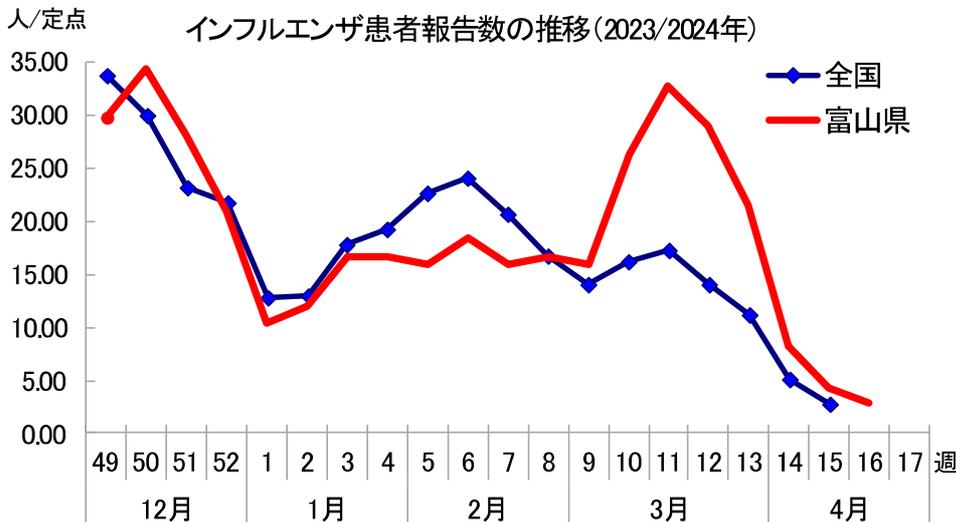
● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第16週 (4/15~4/21) : 富山県 2.93人/定点

新川 HC (1.33)、中部 HC (0.00)、高岡 HC (2.46)、砺波 HC (8.57)、富山市 HC (2.33)

全国の患者報告数は、第15週に2.69人/定点となり、前週から減少しました。

県内の患者報告数は、今週2.93人/定点となり、前週と比較して減少しました。

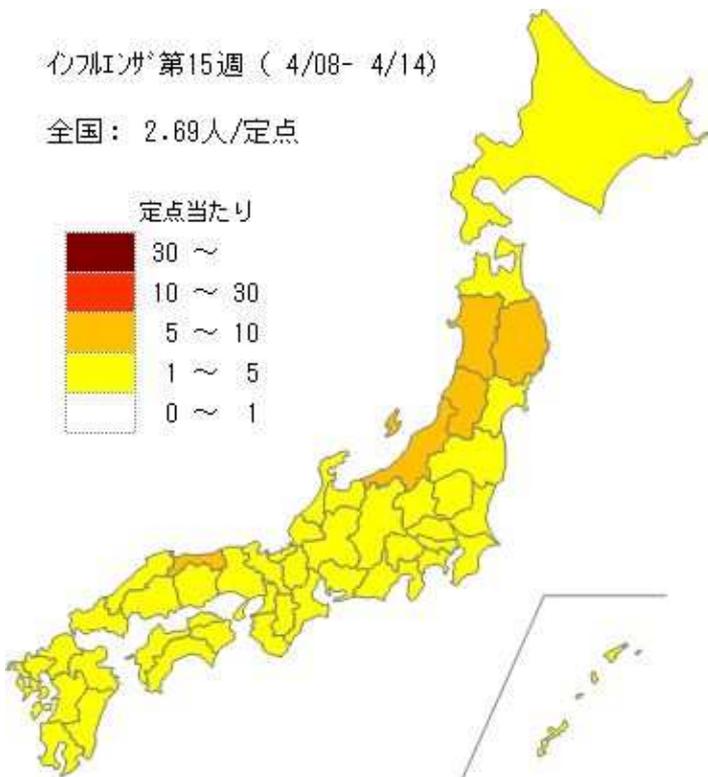


● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第15週 (4/8~4/14)

全国の患者報告数は、定点医療機関あたり 2.69 人となり、前週の 5.09 人より減少しました。47 都道府県すべてで前週より減少しています。

インフル第15週 (4/08- 4/14)

全国：2.69人/定点



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	3.87 ↓	滋賀県	1.60 ↓
青森県	3.03 ↓	京都府	1.85 ↓
岩手県	5.44 ↓	大阪府	1.29 ↓
宮城県	4.19 ↓	兵庫県	1.33 ↓
秋田県	5.23 ↓	奈良県	1.71 ↓
山形県	8.02 ↓	和歌山県	2.59 ↓
福島県	3.76 ↓	鳥取県	5.52 ↓
茨城県	3.73 ↓	島根県	3.45 ↓
栃木県	3.66 ↓	岡山県	1.15 ↓
群馬県	3.88 ↓	広島県	1.91 ↓
埼玉県	2.91 ↓	山口県	2.69 ↓
千葉県	3.24 ↓	徳島県	2.16 ↓
東京都	1.96 ↓	香川県	2.51 ↓
神奈川県	2.19 ↓	愛媛県	3.77 ↓
新潟県	5.83 ↓	高知県	2.23 ↓
富山県	4.24 ↓	福岡県	1.20 ↓
石川県	3.31 ↓	佐賀県	1.90 ↓
福井県	3.82 ↓	長崎県	2.30 ↓
山梨県	4.32 ↓	熊本県	1.66 ↓
長野県	3.82 ↓	大分県	2.88 ↓
岐阜県	1.80 ↓	宮崎県	1.71 ↓
静岡県	2.94 ↓	鹿児島県	3.34 ↓
愛知県	2.04 ↓	沖縄県	3.81 ↓
三重県	1.85 ↓	全国	2.69 ↓